

## 令和元年度 第2回四條畷市人権文化をはぐくむまちづくり審議会 議事録

1.日 時：令和元年 11 月 11 日（月）

15 時 00 分～17 時 00 分

2.場 所：四條畷市役所本館 2 階 ミーティングルーム

3.出席者：（委 員）9 名

窪委員（会長）、榎原委員（副会長）、乗本委員、青柳委員、守屋委員、  
山本委員、平田委員、石井委員、北條委員 ※順不同

欠席者：（委 員）1 名

寺阪委員

（傍 聴）0 名

（事務局）4 名

山本市民生活部長、上村人権・市民相談課長、西村人権・市民相談  
課主任、田中人権・市民相談課臨時職員（記録担当）

4.主な議題

- (1) 人権に関する市民意識調査報告書（案）について
- (2) その他

5.配布資料

- (1) 次第
- (2) 人権に関する市民意識調査報告書（案）について
- (3) 人権に関する市民意識調査報告書（案）

## 6.議事録

### (1) 人権に関する市民意識調査報告書（案）について

事務局

<人権に関する市民意識調査報告書（案）について読み上げ>

会長

こちらについてご議論をお願いいたします。それでは、各委員から何か意見等ありましたらお願いいたします。

乗本委員

2番の件ですが、庁内調整や人権協会から助言をいただいたとありますが、具体的に紹介していただけないでしょうか。

事務局

書いていただいた内容が独り歩きして、誤解を招く恐れがあるため、載せるのを控えた方が良いのではというご意見です。

乗本委員

広く公開することは好ましくないかもしれませんが、委員の中で共有できませんか。

事務局

まとめているので、委員さんの方には配布させていただきます。

山本委員

3番の前回回答との比較を載せていただけていますが、P1の部分に前回調査はいつ実施したか等の概要も載せていただきたい。

事務局

抜けていましたので、追記いたします。

北條委員

2番目の問27の件ですが、報告書には「今後の人権施策に活用させていただきます」という文言が入るわけですね。

どう活かしていくのかイメージがわからないので、お聞きしたいです。

#### 守屋委員

どう活かすかが大切で、すぐに取り組める事項、長年かけて検討する事項という風にわけて、今取り組んでいる施策の中にどうあてはめていくか具体的に考えていってください。

#### 事務局

啓発を進めていく事も含め検討させていただきたいと思います。  
推進本部等で、議論の一つにすることで、内部的にオープンにして、検討していきたいと思えます。

#### 乗本委員

具体的な課題が明らかになってからがスタートだと思います。  
決意表明のような様な事も書いて欲しい。

#### 石井委員

市役所は普通の会社より縦のチェックが厳しいようですが、それでは市民の声が届かないので、出来る事は市長のお伺いを立てずにやってほしい。  
例えば、廊下の幅を椅子や机を動かして広げてくれた事があった。  
この機会なので言わせてもらいますが、喫煙の対応は厳しくされていますが、飲酒に関しては厳しくされないのでしょうか。  
犯罪被害者の会からはお酒のイベントについてご意見がありました。

#### 榎原委員

人権・市民相談課だけでなく、各担当課の方でも案を作って、アンケートから見えてきたものでどんな施策をしていくか一筆書いたら良いのではないのでしょうか。  
そうすると問 27 を載せなくとも納得していただけるのではないのでしょうか。

#### 山本委員

4 番の各設問の解説についてで、読み取れる事実のみを簡潔に記載するとしていますが、4 年前と比較して大きな変化があるなど、特記事項は記載すべきだと思います。  
例えば P 17 の外国人の人権についての項目で、4 年前は「わからない」を選択されたのが、3.2%であったが、今年の調査では 30.7%だったので、たいていの方は疑問に思うでしょう。そのような事は記載していく方針にした方が良いと思います。

#### 乗本委員

この報告書は誰に向けての報告書なのかと思ってしまう。  
この資料を見て、四條畷市での共通の問題が見えてきませんか。

例えば、人権三法の周知が低い事や行政との関わりが薄い事など、ポイントをまとめて、議員さんに理解してもらおうなど、考えていただきたい。

アンケートをやったのは評価しますが、具体的にまとめて、いろんな人に理解してもらい、具体的に活かしてください。

北條委員

年齢等を大きな刻みにしたり、母数の良く似た所を集めて、特徴がはっきりするように集計してもよいのではないのでしょうか。

会長

市長は意識調査の結果を見て何かおっしゃっていましたか。

事務局

市長は意識調査をやるときに年間のスケジュールをしっかりとやって、予算要求までに集計をとり、意識調査から見えたものを予算要求するように心掛けてくださいとはおっしゃっていました。

実際は、他の市町村や県が先進的にやっているものや新たな施策をやっていききたいというところから、今予算要求している所です。

青柳委員

この調査の結果はもう庁内の他の課の方は見てらっしゃるのですか。

時期的には市民と同じ時期に公開なのでしょう。

先程予算要求のお話が出ていたので、時期的な事が気になりました。

事務局

人権の予算要求に関しては人権・市民相談課がしていきますが、他課に関連する事は相談して進めていきます。

スケジュールはこちらの審議会で議論していただいた後、庁内の推進本部を含めて庁内に周知し、議員さんへの情報提供を含めて周知を進めて行く予定です。

青柳委員

どう活かすかなども、集計を実際に見てもらって、問題の主になる課の意見も反映させて、簡単なコメントを入れられないですかね。

こういう問題があると判ったという事を示していただいた方が、どう進めるかという話にもなると思います。

また、前回の意識調査にも何も書かれていませんでしたが、今回はどこまで進めるかとい

う事や何をポイントに集計を進めたかも書いていただけたら報告書としてはいいかなと思いました。

平田委員

コメントを書く事で誘導してしまう部分がないか心配です。

また年齢別の部分で、若年者は出会い系サイトに興味がないが、高齢者は出会い系サイトに問題意識があるというのは、高齢の方はお金があるからサイトを利用できて、若年者はSNSを出会いの場にするから出会い系サイトは使わないという解釈の分かれ方もあるので、難しいと思います。

青柳委員

1つずつの設問に欲しいというわけではなく、ざっくりした内容でもあった方がいいと思います。

前はどんな感じでしょうか。

事務局

前は結果的に集計だけになっています。

コメントや今後の取組について記載する所までは至っていませんが、今年はクロス集計まで進めています。

青柳委員

実際どうだったかという所の各課で検証して、課題についての5年間の取組みの実例等はどうなっているのでしょうか。

統計のみの報告だけの公開であっても、庁内でそこまで踏み込んで進めていただけているのでしょうか。

事務局

進捗管理や実績報告についても、みなさんの意見を聞きながら課題についても振り返りを進めている所です。

いろんな意見をいただき、クロス集計も出来たので、どう啓発等進めるかについても課題にさせて欲しいと思います。

前回集計との比較の部分については欠けうる所があったかなと思います。

山本委員

前回との比較した時の変化に重点対策が必要だと思います。

例えば問21の4番目の子どもたちの中で、インターネットやSNSを利用したいじめが発

生しているというのが大幅に増えています。スマートフォンを利用する子ども達が増えて  
いる為、正しい使い方について教育を検討する必要がある。

そういう事を書いていたら、こんな風に生きるとイメージができると思いますし、時代の  
流れも分かると思います。

行政がこんな風に理解しているという事を示す意味でも書くべきだと思います。

榎原委員

アンケートで見えてきたものを担当課で書いていただいて、最後のページを読めばだいた  
いの概要が分かるように作っていただきたいです。

北条委員

各項目の性別の分類編の最後などにデータから見えた特徴的な事、施策に繋がる事をピッ  
クアップしてまとめを載せたら分かりやすいのではないかと思います。

会長

みなさんの意識調査の意味が変わってきていると感じました。

当初は意識を明らかにする為でしたが、意識調査をひとつのコミュニケーションの手段と  
して捉えてきていると思います。

市民の要望を調査し、市が答える。

それを、5年後市民の何が変わったかという事を見るというお手紙交換の手段になってい  
ると思いました。

市長は予算に反映させると具体的に考えていただいているという事でしたね。

この結果を各課で検討して、各課は何が出来ると言う事を報告書に書いて、それが市  
民に対するマニフェストになると思います。

市が何をしたいかわかり、何が出来ていないかわかる。

市も責任をもってやらなければいけなくなり、そのためにはどうするか考えなくてはいけ  
なくなるし、市民に結果を伝えて行かなければならなくなるので、張り合いが出てくると思  
います。

そうすると、市民の側も期待して具体的な意見を期待できると思うんです。

事務局

各課を集めてリーダー会議等を行い、まとめの部分等検討させていただきたいと思いま  
す。

この審議会の意見を参考に年内にはある程度まとめて決裁上げて行きたいと思いま  
す。

北條委員

P8に問3-2で、差別体験をしたことがあると答えられた人に、どのような差別体験か問う

箇所、「その他」が一番多くなっていましたが、その他とは何ですか。

事務局

資料を後程ご用意します。

石井委員

私の差別体験で気づいた事が、介護者の方が傷つくのではないかという事です。

コミュニティバスの運転手に文句を言われた時も、車いすを押してくれている妻の方がビックリして、車いすを押すのを嫌がった時期もありました。

私自身は、何度かバスにあおられたり、意外と慣れてたものなのですが、初めて介護する人にとったらすごく傷つく事だと思います。

<自由記述欄・その他欄の配布>

青柳委員

各課にその他の項目も読んで欲しいと思います。

設問を決める段階で、各課には伝えていただいていると思うので、結果もきちっとフィードバックしてください。

事務局

人権意識といった所で、職員一人一人というのは難しく、課題だと思います。

平田委員

載せないのがもったいないと思います。

推進会議で出たコメントも載せていただけたら面白いかなと思う。

会長

各課のコメントを載せる案について、個人や内容が特定され、公表するのがふさわしくない内容もありますが、各課からの回答の中で、対応できるものに関しては対応してほしいと思います。

まったく無視してしまうと、期待が下がり、次回回答率が下がったり、コメントを書いてくれなくなってしまう恐れがあります。

また、調査を目的にするのではなく、市民とのコミュニケーションのツールとして位置づけて行ってほしいと思います。

平田委員

回答者のうち、40歳未満が少なく、40歳以上が多いので、それを基礎データにして、インターネットや最近の問題に対応してしまうと、偏ってしまうのではないかと思います。若い方から回答を得るのは課題だと思います。

榎原委員

人権という言葉自体が難しいんじゃないかと思います。市民の人が人権にどれだけ意識をもっているかという実態なので、赤裸々に書いてもいいかもしれません。

守屋委員

アンケートに答えたら賞品をあげるというのはできないのでしょうか。

青柳委員

40代以上の人が多いという事でしたが、人口の分布と比較してどうなのでしょう。人口的に40代以上の人が多いのであれば、人口的にはそうなっているので、いいのかなとも思います。

事務局

平成30年度3月末の人口を市のホームページで見ているんですが、10代までが7,000人程、20代までが9,000人、20代が6,000人弱、30代が9,000人、40代が10,000人、50代が7,500人程、60代が6,000人程、70代が7,000人程、80代が3,000人程、90代が1,000人くらいです。

住人基本台帳で2,000人をランダムで抽出しています。

青柳委員

若い人は答えてくれないという事ですね。

榎原委員

一般的なアンケートでも若い人はアンケートを答えないのが実態ではないですかね。

平田委員

20代の若い人が答えやすいようにSNSを使うべきだという意見も出ていますね。経験上20代の時は興味がなかったので、SNSを使っても答えてくれないかもしれませんが。

青柳委員

ネット調査はやっているところはあるのでしょうか。

事務局

四條畷もやっている部分はあります。

インターネットでの回答という部分も視野に入れながらやっています。

石井委員

インターネット回答での回答率がどうなっているのかもまたお聞きしたい。

事務局

高齢の方にも答えていただきたいので、紙を送るというのは外せませんし、インターネットの環境を整えるには、同じ人が何度も答えられないように整理番号を作らないといけないので、その点含めて難しかったです。

会長

他にご意見ありませんでしょうか。

なければ案件 2、事務局からご説明お願いします。

## (2) その他

事務局

当市で行う人権週間記念事業としまして、12月7日土曜日に市民総合センターの市民ホールで太鼓集団魁さんの記念公演を入場料無料で実施します。

公演以外にも人権のお話もさせていただきますので、是非ご参加お願いします。

会長

本日の案件はすべて終了いたしました。

本日はどうもありがとうございました。